

## 専門部会議事内容結果（要旨）

専門部会名	第8回 総務部会
開催日時	平成 28年 7月 7日 18時 30分 ~ 20時 15分
開催会場	名寄市役所名寄庁舎 4階大会議室
出席委員	長内部会長、白井副部会長、中尾副部会長、高木委員、寺尾委員、梅野委員、姉崎委員、扇谷委員、東野委員、田中委員、三澤委員、熊谷委員、早川委員、稲場委員
事務局出席者	臼田部長、松岡参事監、三島部長、田辺部長、川田部長、中村部長、小川部長、松島局長、岡村局長、馬場室長、水間室長、佐々木課長、石橋課長、木村課長、宮本課長、鈴木課長、東課長、岡村支所長、渡辺主幹、菊池主査、山本主事
審議事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>●報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画の変更について</li> <li>・基本目標の変更について</li> </ul> </li> <li>●協議事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本構想における総論について</li> <li>・公民連携事業について</li> <li>・庁舎整備について</li> <li>・智恵文支所の整備について</li> </ul> </li> </ul>
発言内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●冒頭、臼田総務部長より7月1日付けで着任した松岡参事監を紹介</li> <li>●報告事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>◎事務局 より文言整理を行い、各部会長に了承をいただいたものを報告。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画の変更について <ul style="list-style-type: none"> <li>Ⅲ－4 防災対策の充実について</li> <li>Ⅴ－2 小中学校教育の充実</li> <li>Ⅴ－5 生涯学習社会の形成</li> <li>Ⅴ－6 家庭教育の推進</li> <li>Ⅴ－7 生涯スポーツの振興</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>◎事務局 基本計画の主要施策別調書の様式を変更したい。 答申の様式に変更した際、よりわかりやすく表現するために変更したい。 「施策の基本的方向性」⇒「基本的な方向性」 「基本事業」⇒「実現の方策」 それぞれ変更したい。</li> </ul> </li> </ul>

- 部会長 事務局から報告がありました。皆様から何かございますか？
- 委員 「V-5生涯学習社会の形成」の中で、現在の計画では主な計画事業で公民館分館事業が搭載されている。公民館分館事業について、専門部会で議論されたのか？
- ◎事務局 公民館分館事業は、継続して推進していくが個別事業として検討を行う。町内会活動と住み分けして、統一を図りながら進めてきている。しかし、地域づくりとして必要なものと認識しており、継続して取り組んでいく。個別事業として扱い、計画に具体的な事業として搭載はしない。
- 委員 以前は独立した取組をしていたが、町内会の内部組織として活動している部分もあり、活動にも差が出てきている状況もあることから、公民館分館事業の見直しを検討する必要があるのではないか？
- ◎事務局 予算含めて異なる部分はあるが、統一してきている状況である。町内会活動を主体的なものとし、公民館分館活動は分館活動と位置付け統一してきたと認識している。基本計画には搭載しないが、実施計画（個別事業）として必要性は認識しており、継続して取り組みたい。
- 部会長 基本計画に登載しないが、個別事業として取り組みは継続することでよろしいですか？
- 委員 はい。
- 部会長 よりわかりやすい記載とするため文言修正として、各部会長の承認も頂いていることからよろしいでしょうか。  
他にありませんか？  
それでは、次に、基本目標の変更に移ります。事務局より説明を求めます。
- ◎事務局 基本計画の文言整理に伴い、若干変更をお願いしたい。こちらも、関係する各専門部会長に確認をとり承認をいただいておりますので報告させていただきます。  
また、基本目標Vは主要施策名が第1次計画のままになっているものもあったことから、変更をしたい。

- ・基本目標の変更について
  - 基本目標Ⅲ－④ 防災対策の充実について
  - 基本目標Ⅳ－② 森林保全と林業の振興について
  - 基本目標Ⅴ－① 幼児教育の充実
  - 基本目標Ⅴ－② 小中学校教育の充実
  - 基本目標Ⅴ－③ 高等学校教育の充実

■部会長 事務局より基本目標の変更を報告いただきました。文言整理に伴う変更などで、総体的に大きな変更はないということであり、部会長の承認も得ているということですが、皆様いかがでしょうか？  
何かございませんか？よろしければ、協議事項に移りたいと思います。

●協議事項

- ・基本構想について

I 総論

- 「1 答申にあたって」
- 「2 計画の構成と機関」
- 「3 時代の潮流」
- 「4 名寄市のまちづくりの課題」

上記についてそれぞれ資料に沿って説明。

II 基本構想

基本理念、将来像、基本目標はすでに議論頂き承認をいただいていることから将来像の実現に向けて「大切にしたいまちづくりの考え方」について説明。

- ・「公民連携事業」「庁舎整備」「智恵文支所の整備」について

●公民連携事業について

名寄商工会議所から「名寄市西3条南6丁目付近の公有地を活用した公共図書館を含む複合施設の開発について」官民連携事業の導入の検討に係る提言をいただき、市として今後検証などを行うこととなるが、施策横断的な提言であることから改めて考えを確認整理し、若干文言整理を行った。

また、I－7 効率的な行政運営で「民間活力の活用」を「公民連携の推進」に変更。

IV-3 商業の振興で官民と連携し、まちなかに新たな人の流れをつくるために「民間と連携した市街地の再整備などにより、まち中への新たな人の流れを創出するなど、中心市街地の活性化を目指します」を実現の方策に加筆。

●庁舎整備について

合併市であることを含め課題が多く、庁舎のあり方、位置など検討が必要としながら、その間の対応として「災害時における業務継続の方法」についても検討が必要であることから加筆。

●智恵文支所の整備について

智恵文支所の複合施設化は、学校の建築年次や支所の施設改修を行ってきた経緯、更には、今後の智恵文地区のあり方などを見極める必要もあることから、前期計画期間に具体的に搭載することは難しいと考えている。

■委員 名寄市西3条南6丁目に公有地はあるのか？

■委員 公有地はあるが、全て空き地となっている訳ではない。

■委員 人口減少対策と、将来にわたり持続可能なまちづくりが求められる中で、コンパクトなまちづくり、商業機能・地域経済の維持が必要である。高齢化もさらに進むと、現状と同じでは十分な行政サービスが難しくなると考えられることから、よりコンパクトなまちづくりを考える時期ではないだろうか。

■委員 高齢者が増えると、買い物・医療・交通の利便性が必要になる。そう考えると、まち中には一定程度機能が集積していることから、今一度、中心市街地の活用を考えるべきではないか。

■委員 中心市街地をコンパクトシティの核としていくべきではないか。

■委員 まちづくりには、核となる施設が必要であり、行政施設も集約されるべきである。人もまち中に集約されることが必要で、コンパクトシティの考え方となる。一つの候補として図書館なども考えられる。

■委員 なぜ図書館なのでしょう？

■委員 公共図書館が老朽化していて、危険な建物となり、建て替えの議論も出てくる。また、今の図書館は従来と異なり、図書館機能に加えて、他の施設も集約された、人が集まるコミュニティの場となっている例が多く、複合施設としての図書館も考えられるのではないか。複合的な行政施設を作ることで、人の流れも創出し、地域経済に結びつく。

- 委員 地域の独自性を活かした地域包括ケアシステムを推進し、高齢者に対して、介護予防の様々な施策を展開することが求められることから、図書館機能の他に、福祉介護の機能も複合的に組み込んだ方が良いのではないかと。
- 委員 施設の複合化を考えた場合、医療・福祉分野でサービス付き高齢者住宅などは検討すべきである。
- 委員 今後の公共施設について、ワークショップが開催され、機能が集約された新たな公共施設をつくるべきとのご意見が多かった。  
名寄市は公共施設総合管理計画を策定し、13%の削減目標を掲げたが、単純に減らすことは難しい。建て替えをしながら集約していくことが必要になることから、施設の複合化は有効ではないかと。
- 部会長 PFIやPPPはヨーロッパなどで浸透しており、官民連携した取組は今後必要になってくると思われる。考え方としては良いと思う。
- 委員 複合施設のあり方について、場所含めて今後議論が必要だと思う。
- 委員 色々な角度から見た、様々な意見が出され、まちづくりについて議論が深まれば良い事だと思う。
- ◎事務局 公民連携については、今後さらなる検討が必要であるが、IV-3商業の振興で中心市街地の活性化のために、これまで記載していたファサード整備事業等だけではなく「民間と連携した市街地の再整備などにより、まちなかへの新たな人の流れを創出するなど、中心市街地の活性化を目指します。」を追記させていただきたい。
- 部会長 公民連携や施設の複合化などは、今後市民議論が必要になると思う。
- 委員 公民連携事業は、まちづくりを考えた時に大変重要なことである。行政が施設整備すると補助はないが、民間と連携し、民間主導で動けば補助を受けることも可能となることもあることから、工夫が必要だと思う。  
今後、人の流れや雇用を生むような補助事業などを探し、国や道の支援を受けながら事業を実施することも、これからは必要ではないかと。
- 委員 智恵文支所について、今後は学校と保育所の複合化も考えられると思うが、児童生徒数の推移から将来的な廃校なども考えられるのか？

	<p>◎事務局 数年前と比べると児童生徒数が増えている状況ではあるが、出生数を見ると、H26は0名、H27は3名となっている。今後のことは分からないが、10年前と比較すると25%減となっている。 今後の人口の推移や地域全体の考えを議論していく必要があると認識している。 従って、総合計画前期2年間の計画に搭載することは難しい。</p> <p>■部会長 前期計画期間に実施できないものを搭載することはできないので、搭載しないことよろしいか。  搭載しないことを承認。</p> <p>■委員 V-5生涯学習社会の形成「生涯学習プログラムの整備と学習への支援」現状と課題の中で、新聞のマイクロフィルム化について、具体的な会社名を出す必要があるか？</p> <p>◎事務局 これまでも取り組んでおり、継続することで記載した。</p> <p>■委員 会社名は記載すべきではないと思うがどうだろうか？</p> <p>■委員 具体的な会社名を出すことは了解を得ているのか？</p> <p>■委員 了解を得ることができれば、記載しても問題ないのではないか。</p> <p>◎事務局 適切な記載となるよう再度検討を行う。</p> <p>●次回の総務部会について</p> <p>◎事務局 第9回総務部会を7月12日（火）開催したい。 これまで、議論頂いたものをまとめて答申素案を報告したい。</p> <p>◎事務局 わずかではあるが、謝礼をお渡ししたいと考えている。少しでも地元経済の活性化のために商品券でお渡ししたい。</p> <p>■部会長 地元経済に少しでも貢献できるのであれば、商品券でお願いしたい。</p>
<p>決定事項等</p>	<p>●報告事項 基本計画・基本計画の変更について承認</p> <p>●協議事項 基本構想における総論、公民連携事業、庁舎整備、智恵文支所の整備について、事務局の案について承認 新聞のマイクロフィルム化については再度検討を行う。</p>